

柏市地方創生推進交付金事業 評価シート					
番号	手賀沼地域「小さな拠点」創出事業				
担当部署	経済産業部 農政課	担当者	水代	連絡先 771-469	
目的	手賀沼アグリビジネスパーク事業の一環で行政が整備してきた「水辺の拠点」と「わしのや農業交流拠点」について、「水辺の拠点」は手賀沼に魅力を感じる利用者及び事業者をターゲットとした、民間サービスに支えられた活性化の拠点として、また「わしのや農業交流拠点」は、集落と農的活動に関わる都市住民等との連携により、地域課題の解決を目指す地域活動コミュニティの拠点として、それぞれが交流人口だけでなく、手賀沼利用者、都市住民、事業者、大学、市民団体等の中で、地域に継続的に関わる関係人口を取り込みながら、別の特色と役割を持つ「小さな拠点」としての発展を目的としている。				
経費概要	・委託料6,974,000円(手賀沼地域「小さな拠点」創出事業等推進委託)	交付事業に要する経費	6,446,000円		
(15) ページ	手賀沼・東部地域流動人口	基準値	70,100	目標値 84,000	
本事業における重要業績評価指標	指標		指標値	実績値	達成度(%)
	指標①	「小さな拠点」に新たに加わった経済効果	3,000千円	9,965千円	332.17%
	指標②	「小さな拠点」に新たに加わったサービスの利用者数	1,800人	2,950人	163.89%
	指標③	「小さな拠点」の関係団体数(事業開始前8団体)	20団体	29団体	145.00%
	指標④	活用された耕作放棄地面積	30アール	226アール	753.33%
事業効果(自己評価)	○	①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった ③地方創生に効果があった ④地方創生に効果がなかった			
事業概要(進捗)	【時系列で記入】 R5.4～:事業広報・PR(地域への情報発信としてチラシ配布, SNS活用) R5.4～:中間支援組織設計検討・関係者ヒアリング・地域PRイベントの開催(手賀沼ブルーベリーサマー, 手賀沼いちごスタンプラリー, FARMERS YOGA, てんと星空観察隊, 各市民団体等の相談受付業務) R5.4～:水辺の拠点活性化会議(ヌマベ部会 月1回オンラインで開催) R5.4～:拠点活性化に向けたイベントの開催(生きもの観察会, 手賀沼ひまわりクラブ, チームわしやさい, 手賀沼みらワインプロジェクト(7/13ワイナリー視察, 11/3手賀沼オータムバル出店), テガヌマ・ウィークエンド2023(10/1～10/28)) R5.4～:手賀沼ガイドブック番外編「TEGA LOVE ミニブック」, TEGA LOVE プロジェクト(TEGA LOVE フォトコン, TEGA LOVE パンマルシェ, TEGA LOVE アウトドアデイ)				
成果	令和2年度までの道の駅しよなんを中心とした事業の横展開として、令和3年度から新たに3か年の事業計画を策定し、行政で整備した「水辺の拠点」と「わしのや農業交流拠点」の関係人口増加による各拠点の活性化事業を実施した。また、手賀沼周辺における様々な市民団体や民間事業者等の活動支援や情報発信等を行う中間支援組織の構築に向けた検討を実施した。 「水辺の拠点」では、拠点を中心に様々な活動を行っている市民団体に組織された「ヌマベクラブ」のメンバーが集まり、オンラインミーティング(ヌマベ部会)を毎月1回実施した。そこでは拠点の活用方法や使用上のルール、イベント内容の検討、勉強会等を実施し、市民団体等による主体的な拠点活用に向けた協議を行った。イベントとしては毎月1回、拠点内に整備された池(ミライいのち池と呼称)において、生き物観察会を実施している他、10月にはテガヌマウィークエンドと称して、各団体がプログラムを提供し、SUPやヌマベを使ったヨガ体験、釣り教室、クイズラリー、ワークショップ等を実施した。これらの活動等を通し、新たな関係団体の参加や、イベント収入等を得ることができている。その他、令和2年度から検討が始まった「ヌマベの楽校」(水辺の楽校の制度を活用した環境学習プログラム)について、他県の先駆的な取組の視察を行った。 「わしのや農業交流拠点」では周辺の耕作放棄地を活用した「手賀沼ワインプロジェクト」の支援を通して拠点活性化に繋げている。ブドウ栽培に興味を持つ市民ボランティアの積極的な参加により、栽培面積を拡大させながら活動を展開している。完成したワインはホテルやレストランで取扱われ、今後はオンラインでの販売も計画している。また、ワインツーリズムの形態模索においては、先進事例の視察を行い、鷲野谷地区としての個性や特徴と結び付けたツーリズムの構想を検討を始めている。 また、若手農家3人で結成した「チームわしやさい」が、昨年度の「しよなん農家サポーターキッズ」による収穫・梱包体験や、不登校児の農業体験プログラムの受け入れに取組み、一方、令和6年10月から一般公開が始まる染谷家住宅では、「かまご飯体験」などの地域の歴史的資源も活用した体験コンテンツを実施し、鷲野谷地域全体の活性化の検討に取組んだ。 その他、中間支援組織の構築に向けては、本事業の実施主体である「手賀沼アグリビジネスパーク事業推進協議会」の今後のあり方として、本課からの委託事業だけではなく、近隣市を含め、様々な主体と関わりを持ち、手賀沼地域全体をトータルコーディネートするまちづくり組織として活動を継続していくことを軸に、法人化等に向けた協議を進めてきた。令和3年12月から道の駅しよなんの総合受付を「手賀沼まちづくりセンター」として、情報発信だけではなく、地域の困りごとや様々な団体の活動の相談を受ける場所としての機能を持ち合わせる場所として運営を開始したが、一方で法人として独立し、財源を自ら確保して事業を継続することは、現時点では難しいと判断し、道の駅しよなんの機能の一部として運営していくことを目指す。 前年度と同様に、近隣の農家や店舗と連携した手賀沼周遊イベント(手賀沼ブルーベリーサマー, いちごスタンプラリー)の開催やてんと星空観察隊など、道の駅を上手く活用しつつ、周辺に回遊を促す取組を進めている。また、情報発信として、昨年度に発行した手賀沼エリアをもっと好きになるガイドブック「TEGA LOVE」の番外編である「TEGA LOVE ミニブック」を作成し、イベント等で配布して、PRに取組んだ。更に、「TEGA LOVE」プロジェクトでは、「TEGA LOVE」作成で培った地域の飲食店等のネットワークを活用し、フォトコンテストやパンマルシェ、周辺キャンプ場からの提案によるアウトドアイベントなど、地域の関係者を巻き込むことにも成功している。				
その他特記事項					
柏市地方創生総合戦略評価委員会による評価					
KPIについて		意見			
記入しない	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	記入しない			

柏市地方創生推進交付金事業 評価シート(汚水処理施設整備推進交付金)					
番号	良好な住環境の基となる水資源の循環都市『柏』まちづくり計画				
担当部署	土木部 下水道工務課 環境部 環境政策課	担当者	市原 広巳 滝沢 咲子	連絡先	04-7167-1429 04-7167-1695
目的	公共下水道及び浄化槽の整備を一体的に推進することにより、公共用水域の水質改善に寄与し、良好な住環境の整備を図り、柏市への転入促進、転出抑制を進めることを目的とする。				
経費概要	公共下水道事業費 366,000千円(Φ200, 延長2150m) 個人設置型浄化槽事業費 42,000千円(60基)	交付事業 に要する 経費	408,000千円		
重要業績評価指標(数値目標)			基準値	最終目標値	
(15) ページ	純移動数(転入者数-転出者数)の増加		3,000人	1,000人	
本事業における重要業績評価指標	指標		指標値(最終目標値)	実績値	達成度(%)
	指標①	汚水処理人口普及率の向上	95.2%	95.2%	100.0%
	指標②				
	指標③				
	指標④				
事業効果 (自己評価)	<input type="radio"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="radio"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="radio"/> ③地方創生に効果があった <input type="radio"/> ④地方創生に効果がなかった				
事業概要 (進捗)	<p>公共下水道及び浄化槽の整備を一体的に推進することで、汚水処理人口普及率の向上を図り、地域全体として美しい自然環境の回復及び良好な住環境を促進し、「住みたい、住み続けたいまち」を目指す。</p> <p>【目標】 (公共下水道整備)2,150m (浄化槽整備)60基 事業期間:令和3年度から令和7年度まで</p> <p>【年度】 【内容】</p> <p>3 公共下水道順次事業実施 0m 個人設置型浄化槽 4基設置</p> <p>4 公共下水道順次事業実施 158m 個人設置型浄化槽 6基設置</p> <p>5 公共下水道順次事業実施 336m 個人設置型浄化槽 5基設置</p> <p>【実績】 (公共下水道整備)494m (浄化槽整備) 15基 R3~R5計275,305千円(交付金:121,064千円)</p>				
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は、公共下水道整備事業と個人設置型浄化槽整備事業を一体的に推進するものであり、公共下水道整備事業及び個人設置型浄化槽事業は、計画整備延長や整備基数を大きく下回る整備数となってしまったが、その他に社会資本整備総合交付金(事業所管は、国土交通省)や市予算を活用した事業を実施したことにより、目標値を達成できた。</li> <li>手賀沼の水質改善については、最終目標値(COD75%値:9.8mg/l)を超える(9.9mg/l)厳しい状況ではあるが、少しでも水質改善につながるよう、引き続き汚水処理施設整備の事業展開を促進する考えである。</li> </ul>				
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は、地方創生汚水処理施設整備推進交付金(事業所管は内閣府、事務手続きは国土交通省や環境省)を活用し、令和3年度から令和7年度までの5年計画</li> <li>令和5年度が事業中間年度に当たることから、中間評価を実施する</li> <li>同一の計画区域内で引き続き内閣総理大臣による認定が行われた第59回地域再生計画(地方創生汚水処理施設整備推進交付金事業、事業期間は令和3年度から令和7年度までの5年計画)に沿って事業を推進していく</li> </ul>				
柏市地方創生総合戦略評価委員会による評価					
KPIについて			意見		
記入 しない	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない		記入しない		